

函館市医療・介護連携推進協議会【情報共有ツール】

函館市医療・介護連携支援センター

はこだて連携サマリーの 概要及び活用方法

令和8年9月24日(木)

森町役場新棟 2階会議室

- | | | |
|----|------------------|---------|
| 1. | サマリー作成の背景 | p 2～4 |
| 2. | サマリー作成の目的・運用理念 | p 5～6 |
| 3. | 活用方法・フォーマット構築 | p 7～16 |
| 4. | 活用マニュアル | p 17 |
| 5. | 試験運用について | p 18 |
| 6. | フォーマット決定と正式運用の開始 | p 19～26 |
| 7. | 正式運用後のアセスメント | p 27 |
| 8. | ICT等を活用した発展運用 | p 29～30 |

医療・介護関係者の声 （H27年度のアンケート調査と第一回多職種研修会での意見聴取）



書式は、様々なものが出ているが統一されればと思う



医療、介護、在宅、共通の情報ツールで情報共有したい



情報共有するシステムが明確になる事で連携が図りやすくなると思う



各施設、医療機関でフェイスシート、基本情報等が存在するがその内容が様々である。それぞれが共通に記録できるツールがあれば便利

函館市医療・介護連携協議会 情報共有ツール作業部会 メンバー

函館歯科医師会 中野 敏昭

函館薬剤師会 星野 志津代

北海道看護協会 柴田 香奈美

道南在宅ケア研究会 岡田 晋吾

函館地域医療連携実務者協議会 亀谷 博志・熊倉 慎治

北海道医療ソーシャルワーカー協会 石井 義人

函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 青木 美香

函館市地域包括支援センター連絡協議会 松野 陽

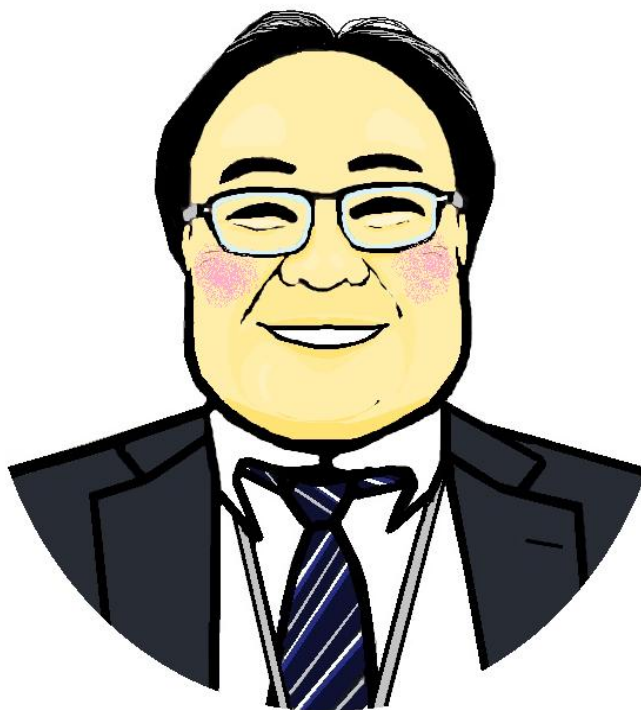
函館市訪問リハビリテーション連絡協議会 吉荒 龍哉

道南訪問看護ステーション連絡協議会 保坂 明美

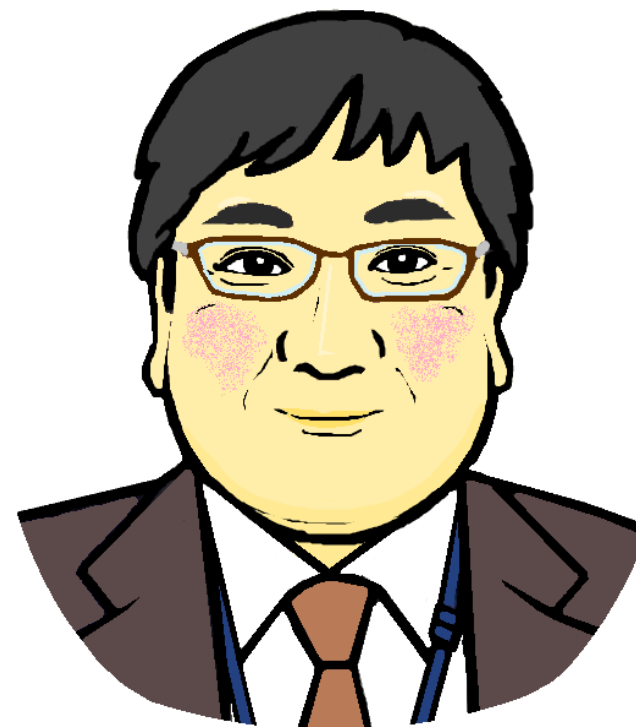
函館市医療・介護連携協議会 情報共有ツール作業部会 コアメンバー紹介



訪問看護フレンズ 保坂さん



函館中央病院 亀谷さん



包括たかおか 松野さん

サマリー作成の目的

わかりやすい

専門職ごとの壁をなくし、どの職種が見ても理解できる言葉や形式にしています

見やすい

必要な情報が整理されて配置されており、一目で全体像が把握できます

連携しやすい

共通のルール・書式を使うことで、スムーズな引き継ぎや相談を可能にします

サマリーの運用理念



職種にとらわれない、分かりやすい内容、言葉・文字の情報提供



“各医療・介護施設内・外” の多職種連携を推進



連携窓口を明確にして密な情報提供と共有の徹底

活用対象者

「病院・在宅・施設」等の間で、対象者の病状や生活・環境等の変化

- 65歳以上の方
- 第2号被保険者で介護保険サービスを利用している方、これから利用を希望する方

活用方法

「医療側」・「介護側」との双方連携において活用するもの

- 医療・介護施設などの連携担当者が、利用者本人または家族の同意を得る
- 多職種で協力して必要情報を記入・作成する
- コピーを自所に保管し、原本を連携相手（受ける側）へ迅速に提供する



1, 基本ツール

対象者フェイスシート、情報共有の基本様式になります

- 基本ツール （基本情報 医療情報 身体・生活機能等）
- 基本ツール②（医療・介護サービス利用状況 生活歴 家族構成等）



2, 応用ツール

基本ツールに記載されている「特別な医療等」を要する場合に 標準情報を記載し作成します

- 「特別な医療等」（褥瘡管理 認知症管理 食事摂取・栄養管理等）

サマリー活用場面の基本イメージ

活用場面① 『病院⇔在宅』

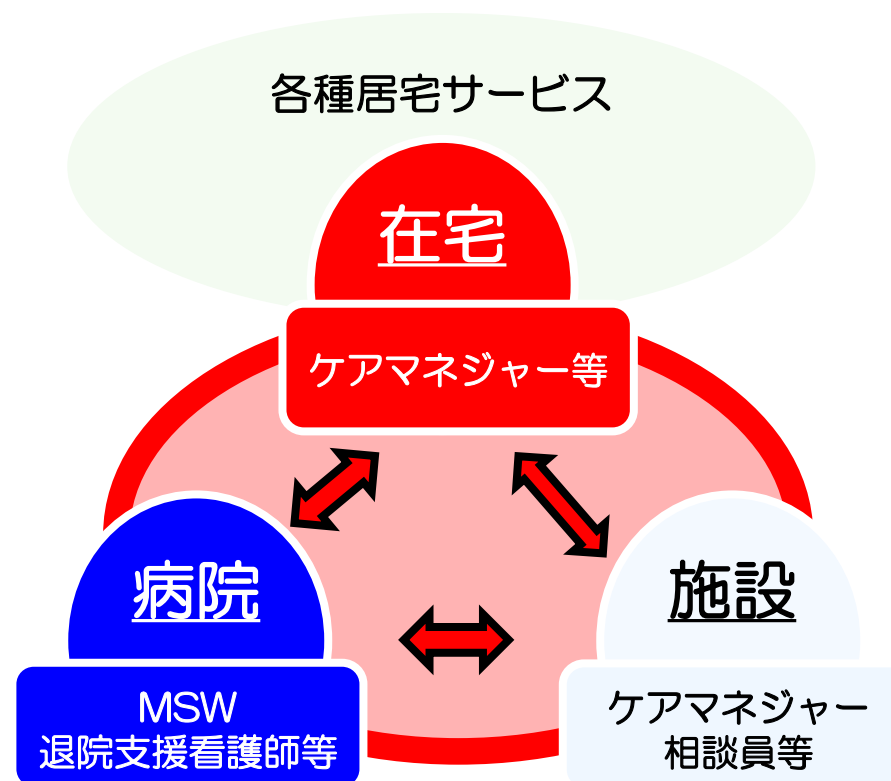
活用場面② 『病院⇔施設』

活用場面③ 『在宅⇔施設』

活用場面④ 『病院⇔病院』

活用場面⑤ 『在宅⇔在宅』

活用場面⑥ 『施設⇔施設』



活用場面① 『病院⇔在宅』

- **病院**(MSW、退院調整看護師等) →→→ **在宅**(ケアマネジャー等)
～自宅退院前等に調整が必要な場合 等
- **在宅**(ケアマネジャー等) →→→ **病院**(MSW、退院調整看護師等)
～病状の変化や、積極的治療を要する為に入院(検査は除く)加療等を要する場合 等

活用場面② 『病院⇔施設』

- **病院**(MSW、退院調整看護師等) →→→ **施設**(ケアマネジャー、相談員等)
～退院後の施設入所が決定し事前に調整が必要な場合 等
- **施設**(ケアマネジャー、相談員等) →→→ **病院**(MSW、退院調整看護師等)
～病状の変化や、積極的治療を要する為に入院(検査は除く)加療等を要する

活用場面③ 『在宅⇔施設』

- **在宅**(ケアマネジャー等) →→→ 施設(ケアマネジャー、相談員等)
～施設入所が決定し情報提供する場合 等
- 施設(ケアマネジャー、相談員等) →→→ **在宅**(ケアマネジャー等)
～施設退所が決定し事前に調整が必要な場合 等

活用場面④ 『病院⇔病院』

- **病院**(MSW、退院調整看護師等) → → → **病院**(MSW、退院調整看護師等)
～病状の変化や、積極的治療を要する為に転院(検査は除く)加療等を要する場合 等
～リハビリや療養を目的に転院を要する場合 等

活用場面⑤ 『在宅⇔在宅』

- **在宅**(ケアマネジャー等) →→→ **在宅**(ケアマネジャー等)
～居宅変更や包括と居宅間での担当変更が決定し情報提供する場合 等
～ケアマネジャーた包括の職員が他の在宅支援者への情報提供する場合 等
(サ高住等の入居サービス含む)

活用場面⑥ 『施設⇔施設』

- 施設(ケアマネジャー、相談員等) ➡➡➡ 施設(ケアマネジャー、相談員等)
～入所施設が変わる場合 等

個人情報の取り扱いについて

- サマリーの作成や送付を行う際は、**事前の同意取得**が絶対条件です
- 活用対象者である「**利用者本人**」または「**その家族**」から必ず**同意**を得てください
- 同意を得た事実は、適切に記録・保管してください

サマリー試験運用の実施

平成29年4月～
試験運用を開始
病院

平成29年11月～
病院、居宅、包括、施設
訪問看護ステーション

平成29年3月
全情報共有ツール様式を確定

平成29年6月～
病院、居宅、包括、施設
サービス付き高齢者住宅

平成30年3月26日～
正式運用を開始

基本ツール

【氏名】
フリガナは自動で出てきます。

[illegible]

【生年】
S.00.00.00もしくは
0000/00/00の
方式で入力してください。

自動計算されます。

6 フォーマット決定と正式運用の開始

基本ツール②

【氏名】
基本ツール①で入力した名前が
標記されます。

[illegible]

【年間スケジュール】
セルをクリックして選択して下さい。

- 訪問診療
 - 訪問歯科診療
 - 訪問看護
 - 訪問介護
 - 訪問入浴
 - 訪問リハ
 -
 -
- Ets

応用ツール種類

- ① 付帯情報管理
- ② 褥瘡管理
- ③ 認知症管理
- ④ 食事摂取困難管理
- ⑤ 自己腹膜灌流管理
- ⑥ 酸素療法管理
- ⑦ 中心静脈栄養法管理
- ⑧ 糖尿病治療管理
- ⑨ 経管栄養法管理
- ⑩ 膀胱留置カテーテル管理
- ⑪ 自己導尿管理
- ⑫ 腎瘻・尿管皮膚瘻管理
- ⑬ 人工呼吸療法管理
- ⑭ 気管カニューレ管理
- ⑮ 人工肛門・人工膀胱管理
- ⑯ 感染に関する管理
- ⑰ 緩和ケア情報共有シート
- ⑱ 本人の意向を尊重した意思決定支援のための情報
- ⑲ 特記事項

基本ツール

はなにて医療・介護連携サマリ【基本ツール】									
情報提供先 施設名称		御中		情報提供先 担当者名		様			
● 基本情報等									
(フリガナ)		氏名		生年・ 性別等	生 年 月 日	生 活 期 間	無 期 間	療養 期間	無 期 間
居住所		〒 市 区 町 丁目 番 号		電話番号		電話番号			
居住		戸建: ☐ 集合住宅: ☐ ※エレベータ ☐ 有 ☐ 無 ☐		健康保険種別		健康保険		国民健康保険	
要介護度		認定年月 月 日		介護保険受給者生活自立度 自立度(書かれた数字)		認知症高齢者日常生活自立度		その他()	
同居家族		☐ 無 ☐ 配偶者 ☐ 子 ☐ 子の配偶者 ☐ 兄弟姉妹 ☐ その他()							
連絡先①		姓 名		電話番号		職業		主介護者 ☐ キーパーソン ☐	
連絡先②		姓 名		電話番号		職業		主介護者 ☐ キーパーソン ☐	
● 医療情報等 ※医療記録等が障害の認知ケアに含まれている場合は、活用ツールでも作成できない									
主治医		診療科目		担当医		受診状況等		その他	
● 身体・生活機能等									
野保日		令和 年 月 日		地域福祉に大関心し「通院時」 に地域生活等()その他()					
① 食事		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		② 着衣・水分制限		☐ 無 ☐ 有			
③ 食事・トイレに関する見直し		☐ 自立 ☐ 一部介助 (要支援) ☐ 要介助が可能な場合 ☐ 全介助		④ トイレ使用(バインド含む)		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		⑤ トイレ使用	
⑥ 散歩		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		⑦ 歩行器使用(バインド含む)		☐ 無 ☐ 有		⑧ 歩行器使用	
⑨ トイレ動作		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		⑩ トイレ使用		☐ 無 ☐ 有		⑪ トイレ使用	
⑫ 入浴		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		⑬ 入浴		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		⑭ 入浴	
⑮ 平地歩行		☐ 自立 ☐ 一部介助 (歩行器使用) ☐ 要介助が可能な場合 ☐ 全介助		⑯ 認知症症状		☐ 無 ☐ 有		⑰ 認知症症状	
⑱ 階段昇降		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		⑲ 階段昇降		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		⑳ 階段昇降	
㉑ 更衣		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		㉒ 更衣		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		㉓ 更衣	
㉔ 排便コントロール		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		㉕ 排便コントロール		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		㉖ 排便コントロール	
㉗ 排便コントロール		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		㉘ 排便コントロール		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		㉙ 排便コントロール	
㉚ 口腔・栄養		身長 cm 体重 kg 歯の腐れ ☐ 有 ☐ 無 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 有		㉛ 口腔・栄養		☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		㉜ 口腔・栄養	
㉝ 歯痛の状況		☐ 無 ☐ 軽度 ☐ 中度 ☐ 重度		㉞ 歯痛の部位		☐ 左上 ☐ 右上 ☐ 両上 ☐ 両下 ☐ 両上両下 ☐ その他 ☐		㉟ 歯痛の部位	
㊱ 視力(日常生活に支障)		☐ 無 ☐ 有()		㊲ 聴覚		☐ 無 ☐ 有		㊳ 聴覚	
㊴ 聴力(日常生活に支障)		☐ 無 ☐ 有()		㊵ 補聴器		☐ 無 ☐ 有		㊶ 補聴器	
㊷ 特別な医療等		① 胃腸 (活用ツール①作成)		② 皮膚疾患 (活用ツール②作成)		③ 認知症 (活用ツール③作成)		④ 食事摂取困難 (活用ツール④作成)	
㊸ 特別な医療等		⑤ 食事摂取困難 (活用ツール⑤作成)		⑥ 認知症 (活用ツール⑥作成)		⑦ 認知症 (活用ツール⑦作成)		⑧ 認知症 (活用ツール⑧作成)	
㊹ 特別な医療等		⑨ 認知症 (活用ツール⑨作成)		⑩ 認知症 (活用ツール⑩作成)		⑪ 認知症 (活用ツール⑪作成)		⑫ 認知症 (活用ツール⑫作成)	
㊺ 特別な医療等		⑬ 認知症 (活用ツール⑬作成)		⑭ 認知症 (活用ツール⑭作成)		⑮ 認知症 (活用ツール⑮作成)		⑯ 認知症 (活用ツール⑯作成)	
㊻ 特別な医療等		⑰ 認知症 (活用ツール⑰作成)		⑱ 認知症 (活用ツール⑱作成)		⑲ 認知症 (活用ツール⑲作成)		⑳ 認知症 (活用ツール⑳作成)	
㊼ 特別な医療等		㉑ 認知症 (活用ツール㉑作成)		㉒ 認知症 (活用ツール㉒作成)		㉓ 認知症 (活用ツール㉓作成)		㉔ 認知症 (活用ツール㉔作成)	
㊽ 特別な医療等		㉕ 認知症 (活用ツール㉕作成)		㉖ 認知症 (活用ツール㉖作成)		㉗ 認知症 (活用ツール㉗作成)		㉘ 認知症 (活用ツール㉘作成)	
㊾ 特別な医療等		㉙ 認知症 (活用ツール㉙作成)		㉚ 認知症 (活用ツール㉚作成)		㉛ 認知症 (活用ツール㉛作成)		㉜ 認知症 (活用ツール㉜作成)	
㊿ 特別な医療等		㉝ 認知症 (活用ツール㉝作成)		㉞ 認知症 (活用ツール㉞作成)		㉟ 認知症 (活用ツール㉟作成)		㊱ 認知症 (活用ツール㊱作成)	
㊱ 特別な医療等		㊲ 認知症 (活用ツール㊲作成)		㊳ 認知症 (活用ツール㊳作成)		㊴ 認知症 (活用ツール㊴作成)		㊵ 認知症 (活用ツール㊵作成)	
㊶ 特別な医療等		㊷ 認知症 (活用ツール㊷作成)		㊸ 認知症 (活用ツール㊸作成)		㊹ 認知症 (活用ツール㊹作成)		㊺ 認知症 (活用ツール㊺作成)	
㊻ 特別な医療等		㊼ 認知症 (活用ツール㊼作成)		㊽ 認知症 (活用ツール㊽作成)		㊾ 認知症 (活用ツール㊾作成)		㊿ 認知症 (活用ツール㊿作成)	
㊼ 特別な医療等									

6 フォーマット決定と正式運用の開始

応用ツール①

記載日 令和 年 月 日

はこだて医療・介護連携サマリー

応用ツール① 付帯情報管理

【基本ツール】の他に必要情報として以下を添付致します。

1. 氏 名 _____ 生年月日 _____

2. 情報提供時に添付する書類 (該当するものに☑)

☐ ① 診療情報提供書
枚数 () 枚
備考 ⇒ _____

☐ ② 看護サマリー
枚数 () 枚
備考 ⇒ _____

☐ ③ リハビリテーションサマリー
枚数 () 枚
備考 ⇒ _____

☐ ④ フェイスシート
枚数 () 枚
備考 ⇒ _____

☐ ⑤ その他
文書名 ⇒ _____
枚数 () 枚
備考 ⇒ _____
文書名 ⇒ _____
枚数 () 枚
備考 ⇒ _____

作成者 所属 _____ 記入者 _____
ツール管理者 所属 _____ 氏名 _____

はこだて医療・介護連携サマリー【応用ツール①】付帯情報管理

【看護サマリー添付】
②看護サマリーのところチェック
(☑)
何枚あるか記載

応用ツール⑬

記載日 令和 年 月 日

はこだて医療・介護連携サマリー

応用ツール⑬ 特記事項

基本ツール（及び他の応用ツール）に記載出来なかった必要な内容を情報提供します。

1. 氏 名 _____ 生年月日 _____ 昭和62年6月6日

作成者 所属 _____ 記入者 _____
ツール管理者 所属 _____ 氏名 _____

はこだて医療・介護連携サマリー【応用ツール⑬】特記事項

【自由記載】

- 何か気になること
- 情報提供した方が良くと思うこと
- 応用ツールに項目がないこと

基本ツール

はこだて医療・介護連携サマリー【基本ツール】

情報提供先 施設名称	種別	情報提供先 担当者名	種別
● 基本情報等			
氏名	生年・性別等	生活保護 受給者	障害者 認定
居住所	電話番号		
居住 (※居住歴、施設名等を下記に記載)	※エレベーター	※介護保険 受給者	その他
要介護度	認定者 有効期間	年 月 日	※介護保険 受給者
同居家族	その他		
連絡先①	続柄	電話番号	関係
連絡先②	続柄	電話番号	関係
● 医療情報等			
主病名	医療機関等名称	診療科目等	担当医
● 身体・生活機能等			
評価日	令和	年	月 日
食事	※食事・水分制限	移動	※その他
椅子とベッド間の移動	移動	オムツ使用 (パッド含む)	
トイレ動作	PTイレ使用		
入浴			
平地歩行	認知症症状		
階段昇降			
更衣	意思の伝達		
排便コントロール	失禁症		
排尿コントロール	尿漏れ		
口腔・栄養	身長	体重	歯の汚れ
	cm	kg	
皮膚の状況	皮膚の部位	その他	
視力 [日常生活に支障]		聴覚	
聴力 [日常生活に支障]		嗅覚	
● 特別な医療等			
※要時・必要の()内に 指定適用ツールを添付す			
在宅介護サービス等			
※介護士・福祉士等 (※)の場合			
※食事の項目で「自立」以外 ※椅子とベッド間の移動の ※本サマリーの記入者			
電話			
※適用ツール以外の記載			

プルダウン式

フェイスシート 1/2

相談受付日	受付方法	()	受付対応者
課題分析の理由 () (前/)			
● 基本情報等			
氏名	生年・性別等	生活保護 受給者	障害者 認定
居住所	電話番号		
居住 (※居住歴、施設名等を下記に記載)	※エレベーター	※介護保険 受給者	その他
要介護度	認定者 有効期間	年 月 日	※介護保険 受給者
同居家族	その他		
連絡先①	続柄	電話番号	関係
連絡先②	続柄	電話番号	関係
● 医療情報等			
主病名	医療機関等名称	診療科目等	担当医
● 身体・生活機能等			
評価日	令和	年	月 日
食事	※食事・水分制限	移動	※その他
椅子とベッド間の移動	移動	オムツ使用 (パッド含む)	
トイレ動作	PTイレ使用		
入浴			
平地歩行	認知症症状		
階段昇降			
更衣	意思の伝達		
排便コントロール	失禁症		
排尿コントロール	尿漏れ		
口腔・栄養	身長	体重	歯の汚れ
	cm	kg	
皮膚の状況	皮膚の部位	その他	
視力 [日常生活に支障]		聴覚	
聴力 [日常生活に支障]		嗅覚	
● 特別な医療等			
※要時・必要の()内に 指定適用ツールを添付す			
在宅介護サービス等			
※介護士・福祉士等 (※)の場合			
※食事の項目で「自立」以外 ※椅子とベッド間の移動の ※本サマリーの記入者			
電話			
※適用ツール以外の記載			

フェイスシート版

サマリー活用している病院

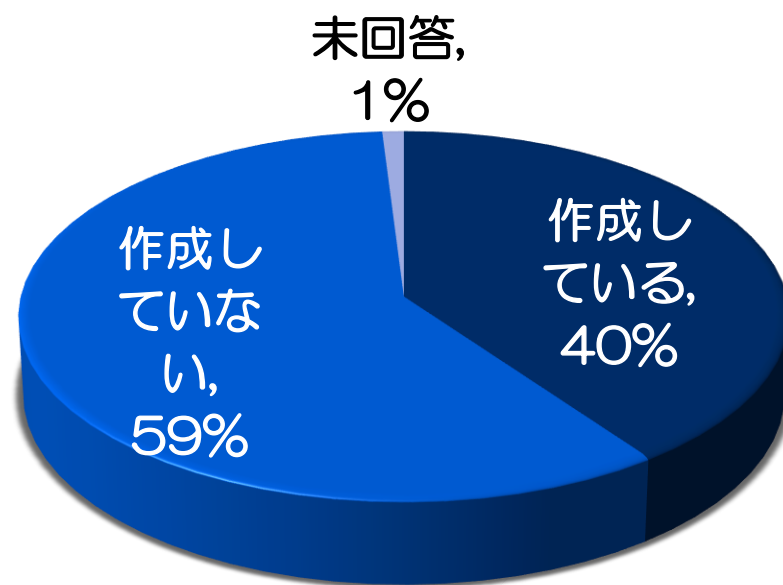
市立函館病院 函館中央病院 函館五稜郭病院

高橋病院 国立函館病院 函館おしま病院

函館市医師会病院 函館記念病院 富田病院

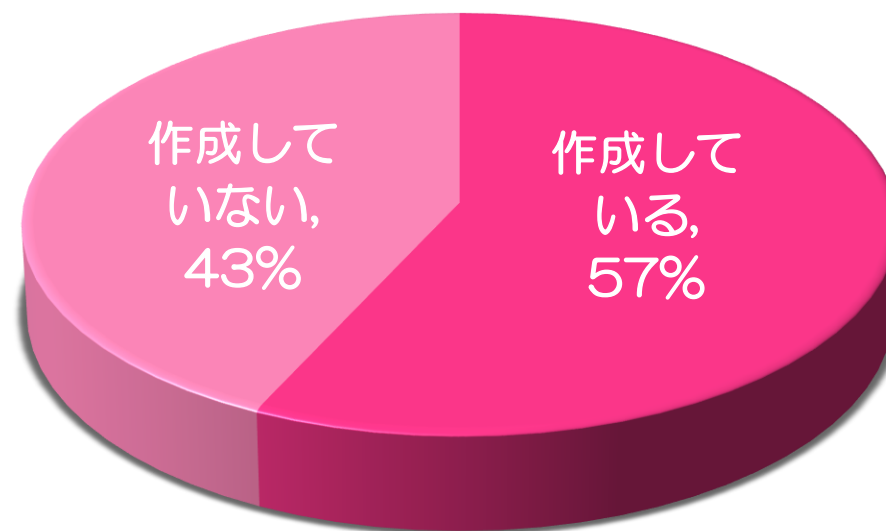
おおむら整形外科病院 …等々

サマリーを作成し、情報共有に活用されたことはありますか？



第1回

平成30年4月～6月



第15回

令和6年7月～令和7年6月分

函館市内のこれまでのICT事情

- 市立函館病院：Medlka（ID-Link）
- 高橋病院：Medlka
- 函館五稜郭病院：Medlka
- 函館中央病院：Medlka
- 函館市医師会病院：Medlka
- 国立病院機構 函館病院：Medlka

Etc...

ICT活用化に向けて情報共有ツールが必要な理由

情報を受け取る方へのおもいやり

共有化していないと発展もしない

地域の最新の知識がいつでも知ることができる



北美原クリニック 岡田晋吾 先生

みなさまにお願いしたいこと

わかりやすい言葉

どの職種が見ても理解しやすい言葉で記載するようにしましょう。

多職種で連携・支援

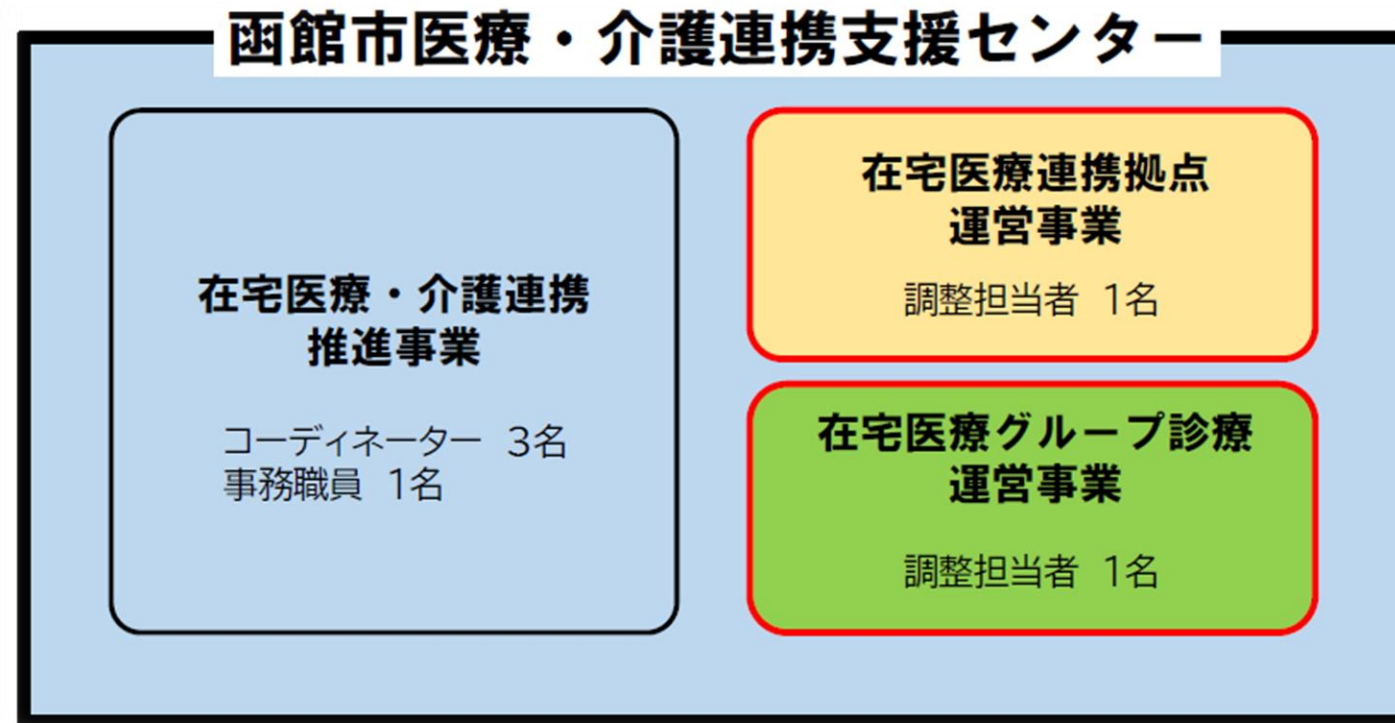
サマリー作成には関係する多職種の協力が重要です。
必要な情報を共有し、切れ目のない支援につなげましょう。

個人情報の取り扱い

本人の権利を守り個人情報保護に関する法令等を遵守しましょう。

これまでの連携推進事業と連動する形で2つの事業を運営

- 高齢者だけではなく，全ての世代が対象
- 医療・介護そして障がい福祉関係者との協働



本来あるべき形の地域包括ケアシステム

